

法人企業向けライセンス

Adobe Creative Cloud

グループ版 | エンタープライズ版

2026年1月版



法人企業向けCreative Cloudの主なメリット

[グループ版]



ボリュームディスカウント
の提供



コラボレーションによりチーム
の作業を効率化



購入手続きが簡単。
注文から使用開始まで
の時間を短縮



一元管理ツールで、
ライセンス管理の
手間を大幅に軽減

[エンタープライズ版]



SSOやクラウドサービスを
管理者が制御することによる
セキュリティ強化



効率的なライセンス
管理とデプロイ



エンタープライズレベル
の専用サポート



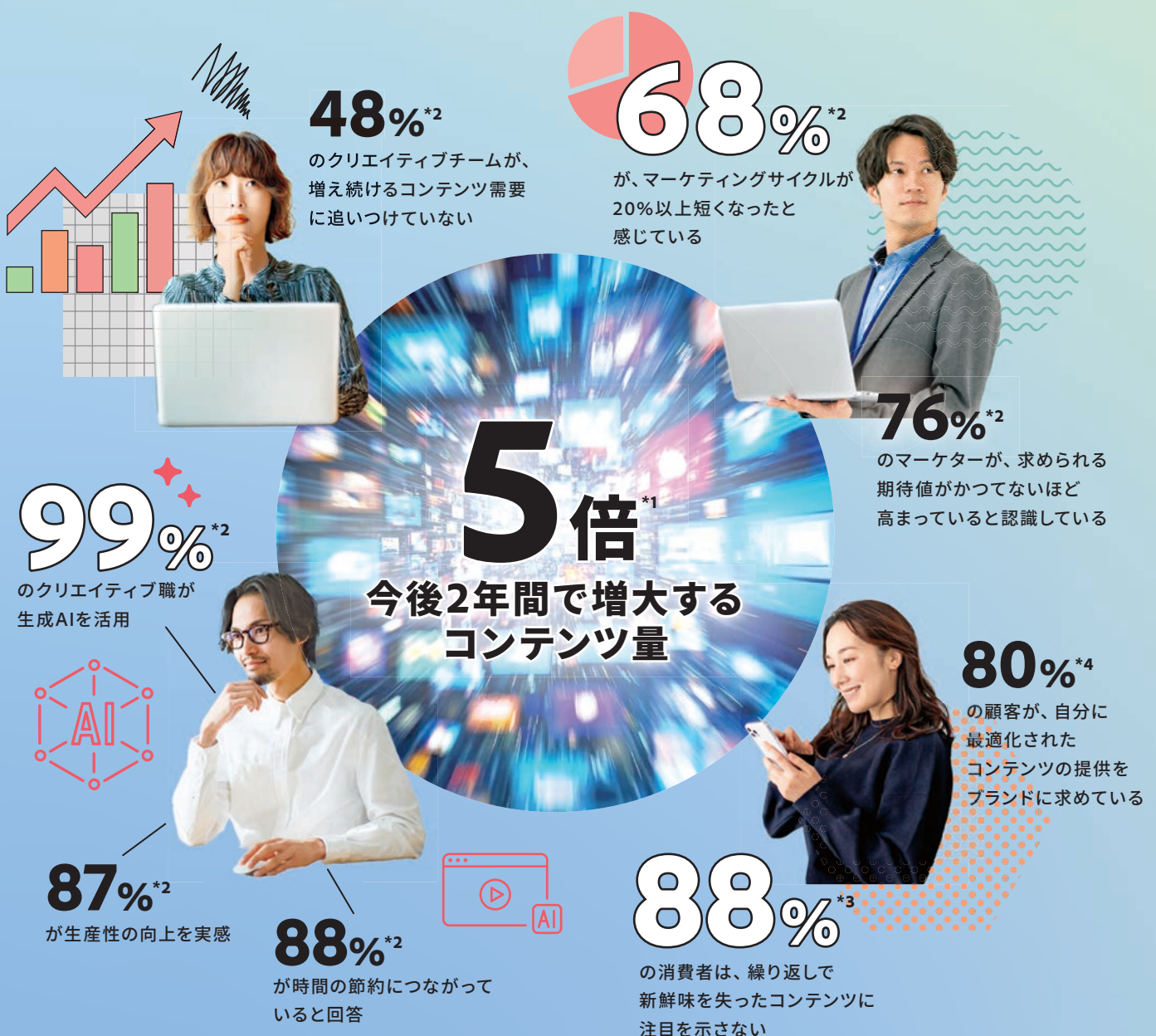
組織規模に応じた
柔軟な購入オプション

コンテンツ爆発時代に、 企業に求められるクリエイティブとは

ディスプレイ広告や動画配信、SNS、webサイト、デジタルサイネージなど、配信チャネルの数が急増し、さらに各チャネルの特性に合わせて作り分ける必要があるなど、制作すべきコンテンツの数は膨大になり、調査*によると今後2年間で5倍になるとも予測されています。

そうした中、消費者は新鮮味を失ったコンテンツには注目しない、また、ブランドに対しての高い信頼と、自分に最適化されたコンテンツであることが購買につながる大きな要因であるというデータも出ています。つまり、パーソナライズされたコンテンツを、ブランドのクオリティを保持しながら、スピーディーに作り替えていくことが重要になります。

こうした状況に備えるべく、クリエイティブ職の多くが生成AIを活用し、生産性向上と時間短縮を実現しており、このコンテンツ爆発の時代を勝ち抜くためには、AIの活用が不可欠となっています。



出典元

*1: "Demand for content shows no sign of slowing," Adobe blog, 2023.

*2: Adobe and Advanis, *AI and the Creative Frontier Study*. As referenced in "How creative pros are using Generative AI to keep up with unprecedented content demands", Adobe Blog, October 23, 2025.

*3: Epsilon Pulse, 2025

*4: Deloitte Digital, "Personalizing Growth: It's a value exchange between brands and customers," June 11, 2024

AI時代に描く、 クリエイティブの未来

これからの企業のチャレンジは、コンテンツ増加に単に対応していただくだけではなく、ブランドの整合性とスピードを上げながら大規模なコンテンツを作っていくことです。そうしたニーズを受け、企業のクリエイティブやコンテンツ制作の分野に様々なツールを提供してきたアドビは、AI時代に即した新たなソリューションを提供します。

アドビの法人向けクリエイティブソリューション

制作チームを強化

制作のスケール拡大

ブランドの一貫性を確保

AIモデルの基盤

Firefly モデル

パートナーモデル

責任あるAI学習 | セキュリティ/プライバシー | 結果に対する説明責任 | コンテンツ認証情報 | 管理・運用

Adobe Firefly

ソリューションの基盤となるプラットフォームが、Adobe Firefly です。画像、動画、音声、ベクターをはじめ、ビジネスで安全に商用利用できるコンテンツを作るための様々な生成AIモデルを提供し、それらは企業が独自のブランドに沿ってカスタマイズすることが可能です。



Creative Cloud

Creative Cloudは、写真、デザイン、動画、イラスト、SNSコンテンツなど、あらゆる制作に対応するアプリがそろっており、フォントやストック素材、クラウドを介したコラボレーション機能などのサービスも利用可能。各アプリ内でFireflyの生成AI機能を直接使用することで、時間のかかる手作業を減らし、アイデアを素早く形にすることができます。



Fireflyエンタープライズソリューション

アセットのバリエーションを迅速に作成したり、大量の編集タスクを自動処理したり、モデルをブランド独自のビジョンと知的財産でトレーニングさせたり、Fireflyの拡張機能を既存のツールやワークフローに統合し、大規模な制作プロセスの効率化を実現するソリューションを提供します。



Creative Cloudの製品内容

※プランによってご利用いただけるツールやサービスが異なります。

⑤ 単体プランでもご提供しております。

主なサービス

制作を支援する各種サービスや機能に、必要なときにいつでもアクセスできます。



Creative Cloud ライブラリ

共有可能なクラウド上の素材置き場



Adobe Fonts

高品質なフォントが無制限に使い放題



Behance

クリエイター向けソーシャルサービス



Creative Cloud デスクトップ

Creative Cloud各アプリやサービスのHub



Adobe Portfolio

ポートフォリオサイトを簡単に公開



Adobe Express

テンプレートを使って手軽にデザイン



主なモバイルアプリ

デスクトップアプリと連携するモバイルアプリを活用して、いつでもどこでもクリエイティブな作業を開始、継続できます。



Adobe Photoshop モバイル版

高度な画像編集もiPhoneやiPadで思いのままに



Adobe Illustrator iPad版

どこにいても自由にデザインを作成



Adobe Capture

撮影した画像をすばやく素材に変換



Adobe Lightroom モバイル版

撮った写真をその場で編集、共有



Adobe Fresco

あらゆるタッチのイラストを作成



Adobe Premiere iPhone版

外出先でも、目を引くスタイリッシュな動画を作成、編集、共有



Adobe Photoshop Express

モバイル写真編集のオールインワン



Adobe Express

テンプレートを使って手軽にデザイン



Adobe Aero (iOS版)

AR (拡張現実) 体験を作成、共有



主なデスクトップアプリ

PhotoshopやIllustratorをはじめ、サブスクリプションで順次新機能が追加される最新のデスクトップアプリをいつでもダウンロードして使用できます。



Adobe Photoshop ⑤

写真のレタッチもカラー校正も思いのまま。高機能で使いやすい画像編集ツール



Adobe Illustrator ⑤

ロゴやイラストの作成からポスターのデザインまで。グラフィックツールの決定版



Adobe InDesign ⑤

印刷およびデジタルメディア向けの高品質なページデザインとレイアウトを作成



Adobe Acrobat Pro^{*1}

高品質なPDFの作成から編集、注釈、電子署名までをいつでもどこからでも



Adobe Animate ⑤ (旧 Flash Professional CC)

ゲーム、TV番組、web広告など多彩な用途のアニメーションを作成、配信



Adobe Premiere ⑤

SNS動画から映画まで、あらゆる用途の映像を制作できる動画編集ツールの定番



Adobe After Effects ⑤

テキストやグラフィックのアニメーション化や映画のような特殊効果を作成



Adobe Audition ⑤

ビデオ、放送、ポッドキャスト向けのオーディオを作成、編集、ミキシング



Adobe Lightroom ⑤

デスクトップでもモバイルでも。どこにいても思い通りの写真を作成、共有



Adobe Lightroom Classic^{*2}

より細かい写真の編集に特化したフォトグラファー向けデスクトップツール



Adobe Character Animator

自分の顔の表情や体の動きを使って2Dキャラクターをアニメーション化



Adobe InCopy ⑤

デザイナーが作成中のドキュメント上で、ライターと編集者が安全に共同編集



Adobe Bridge

写真、ビデオ、その他のデザイン素材を1箇所でプレビュー、整理、検索

*1 単体製品 (サブスクリプション版) でのPro、Standardの購入も可能です *2 Lightroom 単体プランにも含まれます

別売り製品



Adobe Stock^{*}

高品質なロイヤリティフリー素材



Adobe Substance 3D Collection

初心者からエキスパートまで使える、最先端の3D制作環境



Adobe Captivate

マルチデバイス対応のeラーニングオーサリングツール



Technical Communication Suite

5つの高性能ツールを、市場をリードするスイートに統合



Adobe Firefly 生成クレジット

2,000 / 7,000 / 50,000 クレジットの追加プラン



Frame.io (ETLAのみ)

クラウドベースのビデオ共同作業ソリューション

* Creative Cloud製品に加え、Adobe Stockの通常アセット (写真・イラスト・ベクター・テンプレート・通常3D) が使い放題のプランもございます。

Creative Cloud ライブラリ

アプリ間、ユーザー間、デバイス間で共有できるクラウド上の素材置き場

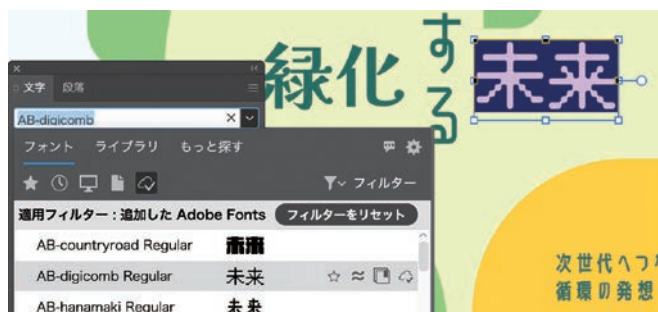
Creative Cloud ライブラリは、クラウド上に用意された「素材置き場」です。写真、グラフィック、ブラシ、カラーテーマ、文字スタイルなどの素材をこのライブラリに保存しておくことで、様々なアプリからいつでも簡単に利用できます。ライブラリは複数のアプリ間やデバイス間、チームメンバー間で共有できるため、プロジェクト全体で一貫性のあるデザインを常に最新の状態で維持できます。



Adobe Fonts

印刷、web、動画などで使用できる高品質なフォントが無制限に使い放題

日本語フォントを含む30,000以上の高品質なフォントをCreative Cloud アプリ内から検索およびアクティベートし、無制限に使用できます。



クラウドドキュメント

制作ファイルの保存、管理、編集、共同作業が可能なクラウド対応のファイル

互換性のあるアプリ*で制作中のファイルをクラウドに自動保存し、どこにいても、最新のファイルにアクセスして編集や共同作業を行います。

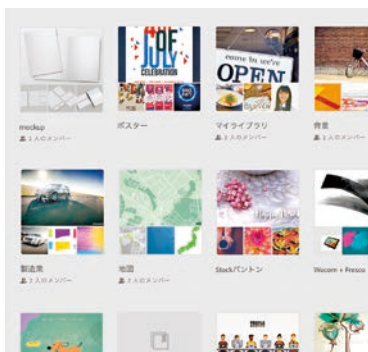


共同作業を効率化する、法人向けならではのツール&サービス

チームライブラリ

ブランドの一貫性を確保

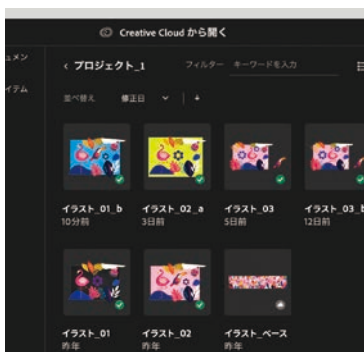
チーム専用のライブラリを作成し、共有することで、メンバー全員がいつでも最新のファイルにアクセスできます。必要なユーザーにだけ編集権限を付与することが可能です。



180日間のバージョン履歴

いつでもファイルを復元

クラウドドキュメントの過去180日間のバージョン履歴を閲覧でき、必要なバージョンを呼び出して使用できます。重要なバージョンは無期限に保存することも可能です。



コメント用に作品を共有

フィードバックをすばやく収集

お使いのCreative Cloudアプリから直接デザインファイルを共有し、フィードバックの内容をリアルタイムで確認できるため、変更箇所をすばやく反映できます。



Ps Adobe Photoshop モバイル版

レタッチやコラージュを、いつでもどこでも。究極の画像編集アプリ

手に収まるデバイスで画像を精密に編集

生成AIを活用した最新機能を多数搭載。新しいオブジェクトの追加、領域を絞った調整、背景の差し替え、不要な要素の削除などをすべてPhotoshopモバイル版で実行できます。



iPhoneとAndroidに対応

Photoshop iPhone版に加え、Photoshop Android版も公開。人物やオブジェクトをあらゆる背景に瞬時に合成し、照明や影のバランスを自動で調整できる「調和」機能もご利用できます。



Ps Adobe Photoshop web版

ダウンロード不要。画像のコンテンツをブラウザ内で直接追加、削除、拡張

エフェクトを適用

グリッチ、ハーフトーン、ぼかし、コミックなど、「効果」パネルに表示される様々なスタイルから、目的のエフェクトを1クリックで適用できます。



ゆがみフィルターを適用

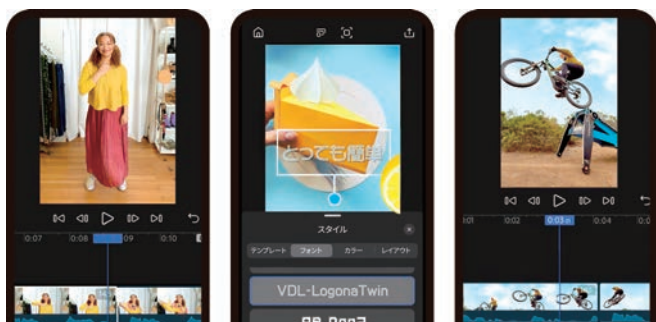
ブラシベースのツールを使用して、画像を直感的にゆがませたり、人物の顔などをレタッチしたり、アーティスティックな効果を追加したりできます。



Pr Adobe Premiere iPhone版

外出先でも、目を引くスタイリッシュな動画を作成、編集、共有

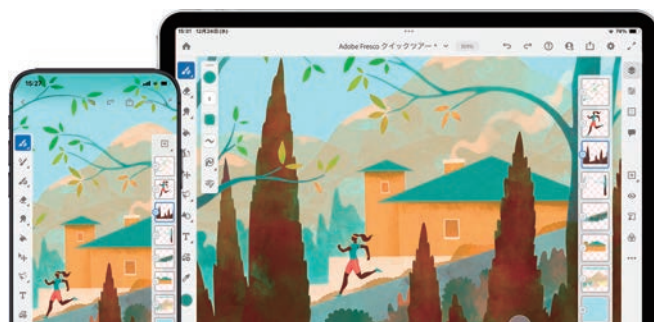
直感的なツールと生成AI機能を使って、クリップのカットからビジュアルの生成、オーディオの強化、カラー補正まで、いつでもどこでもアイデアをすばやく形にできます。



Fr Adobe Fresco

絵画調からデジタルアートまで、あらゆるタッチで描けるイラスト作成アプリ

鉛筆、油彩、水彩、ベクターなど、数千もの豊富なブラシを使って、好きなタッチでイラストを描くことができます。作成したイラストにアニメーションを設定して動かすことも可能です。



Ps Adobe Photoshop

写真のレタッチもコラージュも思いのまま。高機能で使いやすい画像編集ツール

生成アップスケール

FireflyやTopazなどのAIモデルを使って、低解像度画像を拡大・高画質化することができます。単なる拡大ではなく、失われたディテールを予測・生成し、鮮明さを向上させます。



生成塗りつぶし：新しいパートナーAIモデル

生成塗りつぶしを実行する際に、Gemini 3 (Nano Banana Pro搭載)、FLUX.1 Kontext [pro]、および新しいFirefly Fill & Expandモデル (Beta) の選択が可能になり、さらに良い生成結果が得られます。



Photoshop画像を動画にする

生成AIを使って、Photoshopで開いている画像を動画に変換することができます。Photoshopから直接Fireflyに画像を転送し、プロンプトを入力すると数秒の動画が生成されます。



調和

人物やオブジェクトを背景と合成する際に、「調和」機能がライティング、影、カラー、その他のディテールを一致させ、自然なシーンを数秒で実現します。



カラーと自然な彩度

調整レイヤーの「カラーと自然な彩度」を使って、画像の色温度、色かぶり、自然な彩度、彩度、およびホワイトバランスを調整し、バランスの取れた自然な見た目のカラーを実現します。



「被写体を選択」と「背景を削除」の結果の改善

複雑な被写体でもすばやく正確に選択し、背景を削除できます。改善されたクラウドおよびデバイス処理により、オンラインでもオフラインでもさらに高品質な結果が得られるようになりました。



Ai Adobe Illustrator

ロゴやイラストの作成からポスターのデザインまで。グラフィックツールの決定版

フォント管理

強化されたフォントブラウザーで、使いたいフォントをすばやく検索。フィルターで検索したり、ライブラリに整理してアドビアプリ間で同期したり、お気に入りのフォントをまとめて管理したりできます。



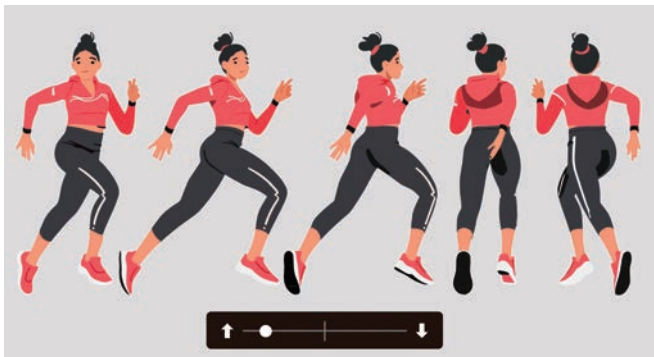
アートワークを拡張

「生成拡張」を使って、ベクターアートワークを上下左右に自然に拡張することができます。グラフィックのサイズ変更や、裁ち落としの追加、他のデザインへの転用などに役立ちます。



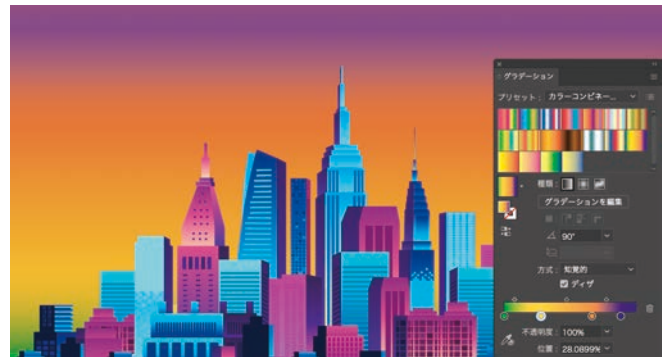
ターンテーブル (Beta)

生成AIが2Dオブジェクトを水平および垂直方向に回転させて、様々な角度からのバリエーションを自動生成します。どの角度においてもベクターは保持されるので、再編集が可能です。



進化したグラデーションツール

グラデーションのディザ効果および知覚的補間を使用することで、より滑らかで自然な色の遷移を実現します。また、豊富な種類のグラデーションプリセットが用意され、アートワークにすばやく適用できます。



幾何学ガイドで正確な位置に配置

スナップ機能が強化され、曲線や接線にもスナップできるようになりました。作業中のアートボードだけにスナップを制限できるため、ストレスなくデザインに取り組みます。



アートボードの機能の向上

右クリックで直接アートボードの作成、複製、名前の変更、削除、選択、並べ替え、ロック、書き出しができます。また、アートボードの背景色を設定することで、複数アートボードを含むドキュメントの整理がしやすくなります。



レイアウトを自動で調整

「フレックスレイアウト」を使用して動的なデザインを作成できます。コンテンツに変更があると、レイアウトが自動調整されるため、手動での調整が不要になります。



シェイプから美しいアートワークを生成

「生成塗りつぶし」機能を使って、シェイプやテキストフレームを選択し、プロンプトを入力することで、その領域を自動生成された画像やテキストで埋めることができます。



AI アシスタント (Beta)

対話型コンテンツ編集機能「AIアシスタント」の導入により、ユーザーが作りたい内容を言葉で説明するだけで、オリジナリティあふれるコンテンツをデザインできるようになります。



充実した生成AI機能

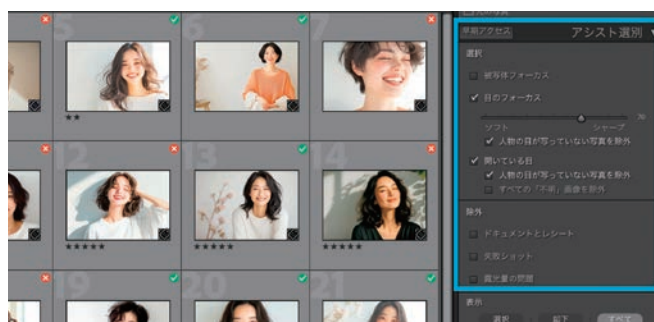
画像の生成、動画の生成、テンプレートの生成、オブジェクトの挿入/削除など、Fireflyの生成AI機能をアプリを切り替えることなくExpress内で利用することが可能です。



AIを活用した機能により、写真編集がさらに効率的に。新機能「埃の削除」は、カメラのセンサーやレンズ上の埃によって生じた、写真内のダストスポットを自動的に検出し、まとめて削除します。



AIを活用した新しい「アシスト選別」機能（早期アクセス）が、画質にもとづいて写真をインテリジェントにフィルタリングし、低品質の写真を除外。大量の写真からベストショットを素早く選択できます。



Pr Adobe Premiere

SNS動画から映画まで、あらゆる用途の映像を制作できる動画編集ツールの定番

AIでマスク作業をスピードアップ

「オブジェクトマスク」では、動画の被写体にカーソルを合わせてクリックするだけで、AIが正確にマスクし、トラックします。手間と時間がかかっていた切り抜き・合成作業が劇的にスピードアップします。



90種類以上の進化したエフェクトとトランジション

グリッチ、ライトリーク、手ブレ、3Dトランジションなど、Film Impactの高品質なエフェクトとトランジションを標準搭載。GPUによる高速処理でリアルタイム再生に対応しています。



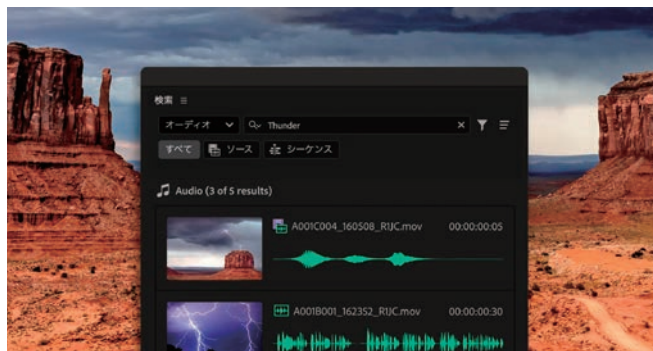
シェイプマスクの機能向上

再設計されたシェイプマスクは、フレーム間の動きをより速くトラックし、ピンポイントの精度を実現。精密なカラー補正やエフェクト作業も簡単にこなせます。



Media Intelligenceでサウンドを素早く検索

検索したいサウンドについてテキストで説明するだけで、フッター内の特定のサウンドを検索できます。また「検索パネル」で、類似のショット、関連する映像、または別テイクを簡単に見つけることもできます。

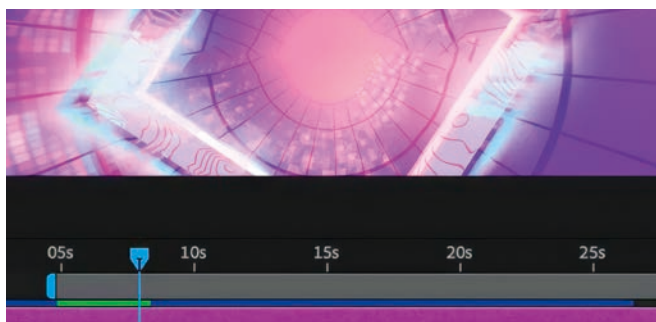


Ae Adobe After Effects

テキストやグラフィックのアニメーション化や映画のような特殊効果を作成

一時停止なしの再生

最新のAfter Effectsではパフォーマンスが大幅に向上し、タイムライン全体を一度に再生できるようになりました。コンピューターやコンポジションを問わずすべて再生できます。



複数の3Dレイヤーを一括操作

複数の3Dレイヤーを同時に選択した場合に、単一の3Dギズモを使用して、移動、拡大・縮小、回転などの操作を一括して行えるようになりました。これにより、複雑なシーンの管理を簡素化できます。



Ch Adobe Character Animator

カメラで表情や話し声をその場で認識して2Dキャラクターをアニメーション化

Webカメラとマイクを使用して、顔と体のトラッキングおよび自動リップシンクを実行。それをキャラクターにリアルタイムで適用して、ライブパフォーマンススペースのアニメーションを作成できます。



An Adobe Animate

ゲーム、TV番組、web広告など多彩な用途のアニメーションを作成、配信

アセットワープや自動リップシンクなどの機能を使ってインタラクティブなアニメーションを制作し、様々な形式で素早くパブリッシュしたり、XやYouTubeなどで共有したりできます。



Adobe Acrobat Pro

高品質なPDFの作成から編集、注釈、電子署名までをいつでもどこからでも

デバイスを問わず複数の関係者とリアルタイムでドキュメントのレビューが行えるほか、PDFを直接編集したり、スキャンしたドキュメントからテキストを抽出したり、PDFをWordやPowerPointの形式に書き出して再利用したりできます。



デスクトップでもモバイルでも、PDF内のテキストを打ち換えたり、画像を追加・削除するといった編集が可能。作成元のファイルに戻る必要はありません。



AIアシスタント機能は、長文のPDF文書をAIが要約し、ユーザーからの質問に対して適切な回答を提示します。これにより、文書の要点を迅速に把握できます。

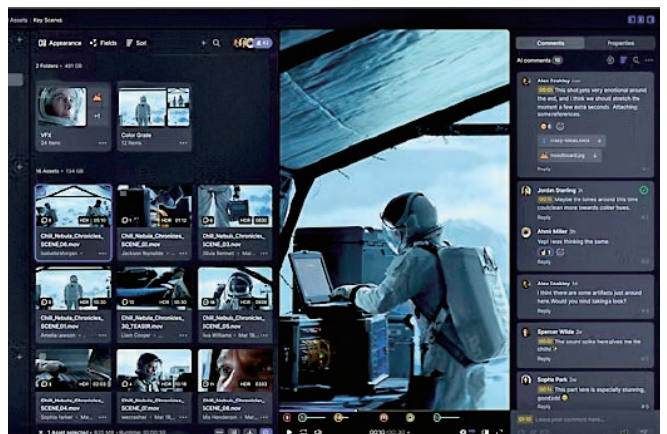
Frame.io

レビューと共同作業のワークフローを改善

Frame.ioは、どこにいてもビデオや写真などのメディアを高速でアップロードし、チーム全体で共有およびレビューができる共同作業ツールです。クリップに直接コメントまたは描画したり、バージョンを並べて比較したり、これらすべての機能が直感的で強力なwebベースのソリューションに組み込まれています。

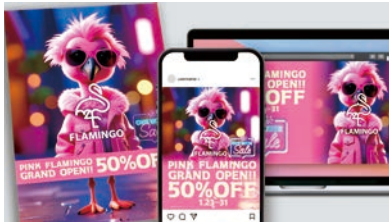
Frame.ioエンタープライズプランの主な内容

- 最大15人のチームメンバーと共同作業
- 無制限のプロジェクト
- ストレージ容量のカスタマイズが可能
- カメラから撮影素材をFrame.ioに即座に送信



アドビの生成AIテクノロジーであるAdobe Fireflyを使用すれば、簡単なテキスト入力ですぐに新たな画像を生成したり、オブジェクトの追加や削除、置き換えなどをおこなえます。安全に商用利用できるよう設計されているため、手軽に安心して生成AIを導入し、組織全体のクリエイティビティと生産性を向上させることができます。Fireflyの生成AI機能は、Photoshop、Illustrator、Adobe Expressなどの各アプリやサービスにも組み込まれており、ワークフローの中で効率的にご利用いただけます。

コンプライアンスを担保する安全設計



安全な商用利用のための設計

FireflyのAIモデルは、アドビがライセンスを取得したAdobe Stockの画像や、著作権の切れた一般コンテンツのみを学習させており、他者の知的財産の侵害となるコンテンツを生成しないよう設計されています。

生成AIと著作権？5分で分かるAdobe Fireflyの安全な商用利用のための設計
<https://blog.adobe.com/jp/publish/2024/11/21/cc-firefly-designed-to-be-commercially-safe-animated>



コンテンツの信頼性

生成されたコンテンツには、その作成方法や編集履歴を示す改ざん防止メタデータであるコンテンツ認証情報 (Content Credentials)* が自動的に付与されます。これにより、AI生成物であることを明確にし、透明性を確保しています。

* <https://contentcredentials.org/verify>

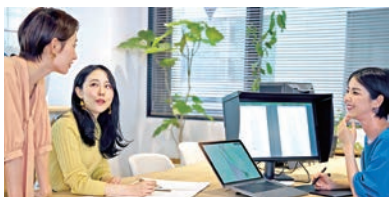


知的財産権 (IP) の補償

対象となるプラン*においては、Fireflyを利用して生成されたコンテンツに対して契約上の知的財産権 (IP) の補償を受けることができます。

* Creative Cloud Pro Plus / エディション 4 および、Adobe Stock サブスクリプション、クレジットパック、包括契約 (ETLA) のプラン

生産性向上につながる圧倒的な処理スピード



制作チームに生成AIのパワーを

Fireflyの生成AI機能はPhotoshopやIllustrator、Premiereなどにも組み込まれており、これまで時間と手間がかかっていた編集作業も大幅に効率アップします。



あらゆる部門で内製化を加速

生成AI機能をAdobe Expressの中で活用することで、マーケティング、営業、人事などの部門でも簡単に高品質なコンテンツを制作できるようになります。



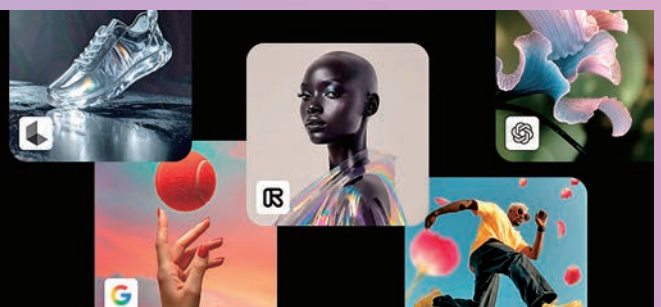
ブランドの一貫性を確保

自社のガイドラインを加味したカスタムモデルを導入することで、チーム全体で容易に一貫性のあるブランドイメージを生成できるようになります。

サードパーティモデルが利用可能

Google、OpenAI、Runwayなど、サードパーティが提供する生成AIモデルをFirefly内で利用することができます。アドビとパートナーがユーザーのコンテンツを学習に使用することはないため、安心して制作に取り組みます。

主なサードパーティモデル： Gemini 2.5 Flash Image、 Gemini 3 Pro Image (Nano Banana Pro)、 Flux 1.1およびFlux.1 Kontext、 Luma AI Ray 3、 GPT Image、 ElevenLabs



Adobe Fireflyの主な機能

画像を生成

数語のテキストプロンプトから、高品質な画像を素早く作成できます。より高品質で詳細な表現が可能になり、明るさとカラーも改善されました。また、既存の写真やスケッチを美しいアートに変換することも可能です。



動画を編集

生成AIで作成した動画を、AI動画編集ツールとわかりやすい言葉を使って編集できます。シンプルなレイヤー上のタイムラインで、クリップのトリミングや並べ替え、オブジェクトの追加や削除などが行えます。



動画と音声を翻訳

動画や音声を20以上の言語に変換し、多言語コンテンツを簡単に作成できます。Fireflyが音声一致からリップシンクまですべてを処理し、どの言語も自然で流暢に聞こえる動画を実現します。



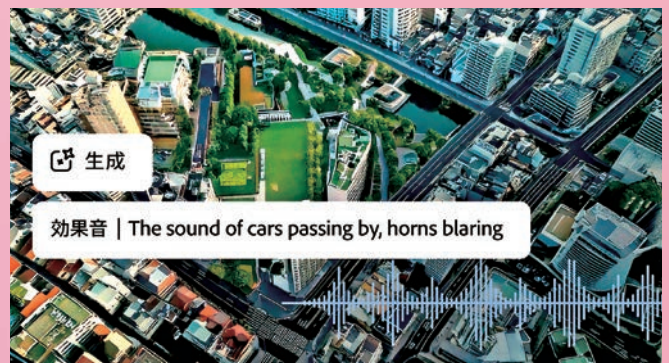
動画を生成

テキストプロンプトや画像から、高品質の動画を即座に作成できます。また、静的なスケッチやキャラクターデザインを、ダイナミックかつプロ品質のアニメーションへと変換することも可能です。



音楽・音声・効果音を生成

Fireflyが動画を分析し、ストーリーに合った独自の音楽を生成します。プロ品質のボイスオーバーやナレーション、さらにガラスが割れる音、ライオンの咆哮、雷鳴といった効果音を生成することも可能です。



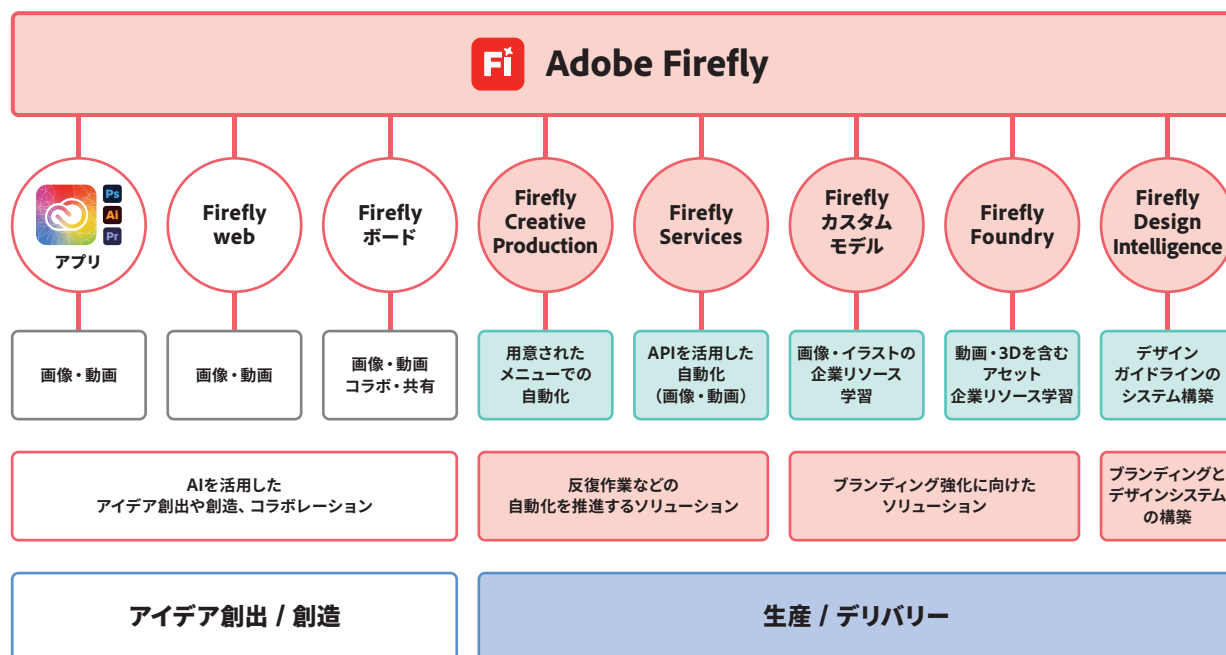
Fireflyボードでアイデアを発想・共有

Fireflyボードは、生成AIを活用してムードボードを作成できるツールです。AIによる画像生成、カスタマイズ可能なテンプレートやドラッグ&ドロップ方式のツールを使用して、アイデアを素早く視覚化できます。



Adobe Fireflyエンタープライズソリューション

Fireflyエンタープライズソリューションは、Fireflyの生成AI機能を企業の制作・運用に統合し、ブランドの一貫性と商用利用の安全性を保持しながら、大規模なコンテンツ制作の効率化を支援する、法人向けの生成AIプラットフォームです。



Firefly Creative Production

ブランドイメージに合ったコンテンツを大規模に制作

Firefly Creative Productionは、大量の編集タスクを簡素化することで、制作を加速し、創造性を解放します。すぐに使えるワークフローとノーコードのインターフェイスにより、一般的な編集作業を簡単に実行できます。一度に数千のファイルに対して、背景の差し替え、画像の切り抜き、カラーグレーディングを実行できます。

- 複数のファイルから背景を一度に削除し、ブランドイメージに合わせて背景を置き換えることができます。
- 焦点領域を配置して、画像のサイズを即時に変更し、元のシーンにシームレスに溶け込む新しい画像を拡張することができます。
- 大量の画像に対して、一貫した高品質なカラー調整を適用し、統一感のあるビジュアルスタイルを実現します。

Firefly Creative Productionについて詳しくは

<https://business.adobe.com/jp/products/firefly-business/firefly-creative-production.html>



Firefly Services

クリエイティブワークフローをAPIで自動化

Firefly Servicesは、生成AIをAPIとして提供することで、企業の既存システムや業務フローにFireflyの生成AI機能を直接組み込み、大規模かつ自動化されたコンテンツ制作を可能にします。市場投入を高速化し、様々なオーディエンスやチャネル、フォーマットに応じた適切なエクスペリエンスを創出できます。

- テキストから画像生成、動画生成、背景置き換えなどのFirefly機能を、API経由で自社システムに統合できます。
- 様々なチャネルやプラットフォームに合わせて、アセットのサイズを簡単に調整することができます。
- パーソナライズされたキャンペーン用に、ビデオのリフレームと翻訳を大規模に実行したり、数千件のアセットバリエーションを生成したりできます。

Firefly Servicesについて詳しくは

<https://business.adobe.com/jp/products/firefly-business/firefly-services.html>

Adobe Firefly バリエーション



画像を動画にする

夢のようなパステル調の曇り空に落下するスニーカー



Firefly カスタムモデル

ブランドに沿ったコンテンツを大規模に制作

Fireflyカスタムモデルは、企業独自のブランドアセットやビジュアルルールを学習させることで、自社専用の生成AIモデルを構築できるサービスです。生成AIを活用しながらも、マーケティングキャンペーンごとにカスタマイズされた、ブランドに即したコンテンツを生成することができます。

- 自社の画像やデザインアセットを用いて、ブランド専用のFireflyモデルをトレーニングできます。
- 色、質感、構図、トーンなどを反映した、一貫性のある生成結果を得られます。
- グローバル展開や多拠点制作においても、ブランドガイドラインの統一を支援します。

Fireflyカスタムモデルについて詳しくは

<https://business.adobe.com/jp/products/firefly-business/custom-models.html>

トレーニング

オレンジと紫の光が混ざり合って輝く、未来的な光る雲。



Firefly Foundry

企業独自のプライベートAIモデルを提供

Firefly Foundryは、企業がアドビと直接連携し、自社ブランドに最適化された独自の生成AIモデルを構築できるソリューションです。既存の知的財産カタログをもとに学習したこれらの専用モデルは、安全に商用利用可能なFireflyモデルを基盤として構築され、ブランド固有の特性に合わせて調整されています。

- Fireflyを企業のIPで再学習。アドビが企業独自アセットを使ってモデル全体のパラメーターを深くチューニングします。
- 画像、動画、3D、ベクター、音声など、マルチモーダルな入出力に対応します。
- Firefly Foundryモデルを、GenStudio、Creative Cloud、Fireflyアプリ、Expressなど、アドビのシステム全体にシームレスに統合できます。

Firefly Foundryについて詳しくは

<https://business.adobe.com/jp/products/firefly-business/firefly-foundry.html>



Firefly Design Intelligence

一貫したクリエイティブ表現でブランド価値を構築

デザインチームは、Creative Cloudアプリ内でAIモデルをトレーニングし、制作上の意図に沿いながら、ブランドに即したコンテンツを大規模に生成できるようになります。デザイナーが主導し、AIが様々なフォーマットで一貫性のあるアセットを迅速に生成します。

- Creative Cloud内で、ブランドに準拠したデザインシステムを数分でトレーニング、テスト、共有できます。
- 静的なデザインオブジェクトを、完全に編集可能なサイズのバリエーションでインテリジェント化できます。
- キャンペーンのテーマが変更された場合、新しいアセットが自動選択され、アップロードすることができます。

Firefly Design Intelligenceについて詳しくは

<https://business.adobe.com/blog/firefly-design-intelligence-build-brand-value-through-creative-expression> (英語)





Content
Authenticity
Initiative

オンラインコンテンツの信頼性と 透明性を高める取り組み

コンテンツ認証イニシアチブ
Content Authenticity Initiative (CAI)

デジタルコンテンツの信頼性と透明性を高めることを目的にアドビが設立、運営する「コンテンツ認証イニシアチブ(CAI)」とその活動についてご紹介します。

CAIとは？

「誤報や偽情報に対抗すること」を目的として2019年に設立された連合コミュニティです。生成AI技術の広がりに伴いフェイク画像等の増加が指摘されるなかで、誤った画像を報道を始め業務や日常生活において使用したり拡散したりすることがない社会を目指しています。

メディア、テクノロジー、ハードウェア、市民社会組織など各分野の主要な企業や個人が参画しています。

CAIのアプローチ：

「来歴」情報の記録

CAIの重要なアプローチとして挙げられるのが、「来歴」情報の記録です。「来歴」とは、画像、映像、音声、文書などのデジタルコンテンツの出所に關する、信頼できる基本的な事実のこと。CAIでは、規格標準化団体であるC2PAで決定した規格を使用して来歴情報の記録を行っています。C2PAはLinux Foundation所属の標準化段階で、NHK技研やSONYも参画しているもので、その技術はオープンソースとして提供されています。

CAIについて詳細は <https://contentauthenticity.org/>

* コンテンツ認証情報は右記のverifyツールで確認することができます。 <https://contentcredentials.org/verify>

55か国以上から5,000を超えるメンバーが参画



法人企業向け Creative Cloud / Firefly 導入事例

Creative CloudおよびFireflyは、クリエイティブに対するリテラシーやコラボレーション能力を高め、様々なデバイスを自由に使い分けながら高品質なクリエイティブを生み出し、多数の業界の課題解決に活用されています。

▼ 広告



株式会社シロク

Adobe Expressを使った共創型ワークフローで、制作を効率化

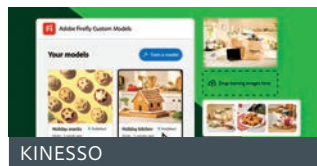
▼ 広告



株式会社電通

生成AIによる広告制作で、2ヶ月の撮影準備期間を1週間に短縮

▼ 広告・マーケティング



KINESSO

Fireflyを使ってAmazon Freshの制作時間を93%短縮

▼ 美容医療



SBC 湘南美容クリニック

Creative Cloud、Adobe Stockと生成AIを活用した効率的なコンテンツ制作

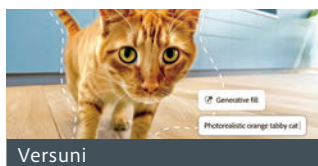
▼ 販売



株式会社ヤッホーブルーイング

ブランド価値と自由闊達な制作環境を支えるCreative Cloud Pro Plus

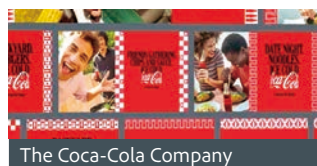
▼ 製造・販売



Versuni

FireflyとCreative Cloudを利用して市場投入までの時間を短縮、コスト削減

▼ 飲料



The Coca-Cola Company

アドビと共同開発したシステムで、ブランドに即したコンテンツを大規模に生成

▼ 金融



SMBC日興証券株式会社

動画制作の内製化により、顧客や社員へ、よりスピーディに情報を配信

最新のCreative Cloud 導入事例はこちら

- <https://business.adobe.com/jp/customer-success-stories.html>
- <https://blog.adobe.com/jp/>

Creative Cloud エンタープライズ版 エディション4

より安全な環境で大規模なクリエイティブチームの生産性を向上

Creative Cloudエンタープライズ版 エディション4は、中～大規模の組織や部門でのご利用に最適なライセンスプランです。エンタープライズレベルの強固なセキュリティ、専用ツールによるライセンスの一元管理、Firefly生成AI機能とIP補償、さらにAdobe Stock素材を拡張ライセンスで無制限に利用することができ、関連会社での利用も可能となっております。

※エンタープライズ版のCreative Cloud製品はエディション4のみでの提供となります。

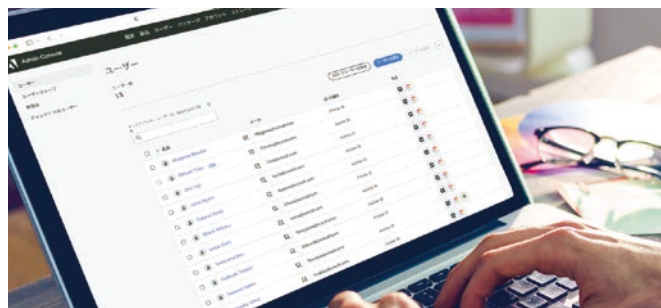
強固なセキュリティ

ストレージ内のすべてのクリエイティブアセットを専用の暗号化キーや監査ログを使って、安全に保護、管理、共有することができます。また、ID認証方式を企業のニーズに応じてAdobe ID、Enterprise ID、Federated ID/SSO (シングルサインオン) から選択することが可能です。



効率的なライセンス管理

企業の管理者は、エンタープライズAdmin Consoleから、Creative Cloudライセンス、ユーザー、アクセスを一元的に管理し、常に全員のバージョンを最新に保持できます。また、管理者を部門ごとに階層的に設定することで、管理負荷を分散させることが可能です。



独自機能を含むFirefly生成AI

標準生成機能への無制限アクセス、およびプレミアム生成機能*をご利用いただけます。また、トーン、カラー、照明、シャドウを自動調整しながら、オブジェクトと新しく生成したシーンをシームレスに調和させる「オブジェクト合成」や、生成画像の各種設定を保存・共有ができる「スタイルキット」など、エディション4ならではの機能も提供します。

* 動画や音声などの生成、パートナーモデルによる生成など (毎月4,000の生成クレジット付与)



Adobe Stockの拡張ライセンスが使い放題

Adobe Stockの通常アセットと一部プレミアムアセットを無制限にダウンロードしてご使用いただけます。「拡張ライセンス」となるため、複製数または閲覧者数の制限がなく、マグカップやTシャツなど、素材自体が主な購入目的となる商品や製品を作成し、販売または配布することが可能です。



安全設計とIP補償によるリスクの軽減

透明性と商用利用の安全性を重視して開発されたFireflyの生成AIモデルにより、リスクを最小限に抑えてブランドを守ることができます。また、Firefly webサイト、Creative Cloudアプリ、およびAdobe StockのFirefly機能を使って生成されたコンテンツに対して、契約上の知的財産権 (IP) の補償を受けることができます。

エンタープライズレベルの専用サポート

電話、チャット、フォーラムによる通常のテクニカルサポートに加え、導入計画やライセンス管理、デプロイメントを支援する専用のエンタープライズサポートを提供します。また、アドビのエキスパートによるサポートセッションを回数に制限なくご利用いただけます。

Creative Cloudエンタープライズ版 エディション4について詳しくは
<https://business.adobe.com/jp/products/creativecloud-business.html>

Creative Cloud Pro Plus グループ版

究極の制作環境に、無限の可能性をプラス

Creative Cloud Pro Plus グループ版は、グループ版の全ての機能とサービスに加え、Fireflyの生成AI機能とIP補償、Adobe Stock素材への無制限アクセスがセットになった法人向けのプランです。コンテンツ制作の効率化はもとより、ライセンスの管理や更新作業、コンプライアンスチェックといった管理者の負担も大幅に軽減できます。

より多くのFirefly生成クレジットと安心のIP補償

Fireflyの生成AI機能を使って、アイデアを素早く形にできます。毎月4,000の生成クレジットが付与され、プレミアム生成機能*もご利用いただけます。標準生成機能へは無制限にアクセス可能です。

また、Creative Cloud Pro Plus グループ版では、Fireflyを利用して生成されたコンテンツに対して契約上の知的財産権 (IP) の補償を受けることができるため、著作権侵害など万が一のリスクにも対応できます。

* 動画や音声などの生成、パートナーモデルによる生成など



6億点以上の高品質な素材が無制限に使い放題

写真、イラスト、ベクター、3D、テンプレートなど、6億点以上におよぶAdobe Stockの通常アセットをご利用いただけます。素材は無制限にダウンロードできるため、カンパ作成時から透かしのない高解像度画像を使用してクライアントに見せることができます。ライセンス購入申請や、本番画像への差し替えが不要になるため、制作における大幅な時間短縮につながります。



利用範囲が広く、安心して使える『強化ライセンス』

Adobe Stockの素材は全て商用利用可能なロイヤリティフリー。「強化ライセンス」となるため、web閲覧数や印刷部数、コピー数の上限を気にせずご利用いただけます。また、制作者および被写体の人物からの使用許諾を得ているため、広告、プロモーション、販促、プレゼンテーションなど幅広い用途において安心してご使用いただけます。



Creative Cloud Pro Plus グループ版について詳しくは
<https://www.adobe.com/jp/creativecloud/business/pro-plus.html>

諸条件 [Creative Cloud エンタープライズ版 エディション4 / Creative Cloud Pro Plus グループ版 共通]

- Creative Cloud Pro エディションの通常のプランとCreative Cloud Pro Plusグループ版の混在は不可となります。全てのCreative Cloud Pro エディションのライセンスをPro Plusグループ版でご利用いただく必要がございます (エンタープライズ版はエディション4のみの提供となっております)。
- Creative Cloudグループ版 コンプリートプランとCreative Cloudグループ版 単体プランの両方が対象です。
- 契約期間中は対象のアセットが、Creative Cloud Pro Plus グループ版は強化ライセンスで、Creative Cloud エンタープライズ版エディション4は拡張ライセンスで無制限にご利用いただけます。
- 企業及び官公庁のお客様が対象です。
- Creative Cloud Pro Plusグループ版およびCreative Cloud エディション4で提供するアセット (素材) をクライアント向けの制作物で使用する場合は利用規約で制限されております。クライアント向けの制作物でご利用になるお客様は、Adobe Stockのプランを合わせてご契約いただき、クライアント向けの制作物にはAdobe Stockのプランで取得したアセットをご利用ください。

問い合わせ一覧

アドビ サポート コミュニティ

<https://community.adobe.com/t5/jp/ct-p/jp>

アドビ サポート コミュニティはどなたでも閲覧・参加できるオープンコミュニティサイトです。お客様ご自身でトラブルの解決方法を調べたり、問題のディスカッションに参加したり (Adobe IDでのログインが必要) することができます。製品知識が豊富なサポートアドバイザーもお客様の問題解決のお手伝いをしています。

アドビサポート

<https://helpx.adobe.com/jp/support.html>

上記URLにアクセスいただき、サポートをご利用ください。

Webサイト

ライセンスプログラム	www.adobe.com/jp/howtobuy/buying-programs.html
VIPに関するリソース	www.adobe.com/go/vip_program_guide_jp
企業向け	www.adobe.com/go/cct
教育機関向け	www.adobe.com/jp/creativecloud/buy/education.html
官公庁向け	www.adobe.com/jp/creativecloud/buy/government.html
販売店一覧	www.adobe.com/jp/joc/elicensing/
Adobe Stockの詳しい情報はこちら	http://www.adobe.com/go/cc_stock
アドビ生成AI / Adobe Firefly	
生成クレジットについてのよくある質問はこちら	https://helpx.adobe.com/jp/firefly/using/generative-credits-faq.html
Adobe Fireflyの詳しい情報はこちら	http://www.adobe.com/go/adobe-gen-ai-addl-terms_jp
アドビ生成AIユーザーガイドラインはこちら	https://www.adobe.com/jp/legal/licenses-terms/adobe-gen-ai-user-guidelines.html
アドビ製品におけるパートナーモデル	https://helpx.adobe.com/jp/firefly/web/get-started/learn-the-basics/non-adobe-models-in-adobe-products.html
FireflyのIP補償についてはこちら	https://helpx.adobe.com/jp/legal/product-descriptions/adobe-firefly.html

Adobe Creative Cloud に関してお客様からよくあるご質問 (FAQ) は ▶ www.adobe.com/jp/products/creativecloud/faq.html

アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー
www.adobe.com/jp/

このカタログに記載の情報は、2026年1月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Audition, Adobe Animate, Adobe Bridge, Adobe Capture, Adobe Comp, Adobe Dimension, Adobe Fonts, Adobe Portfolio, Adobe Premiere, Adobe Premiere Rush, Adobe Spark, Adobe XD, After Effects, Behance, Creative Cloud, the Creative Cloud logo, Creative Suite, Dreamweaver, Illustrator, InCopy, InDesign, Lightroom, Photoshop, Photoshop Fix, Photoshop Mix, and Prelude are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2026 Adobe. All rights reserved. ASJST2064 01/26

